

相談者の約8割が女性ということもあり、県男女参画青少年課は「子育てが一段落し、働きたいのに就職口がない、という相談が増えている」としている。

同プラザでは電話のほか、面接による専門相談も受け付けている。問い合わせは相談専用電話、058(278)0858。(西山歩)

「ギアリンクス」の中田社長

国連で穀物活動報告

県民の食糧確保を目的に2000(平成12)年から南米アルゼンチンとパラグアイで大豆などの穀物を生産している国際企業「ギアリンクス」(本社美濃加茂市)の活動を、同社の中田智洋社長(59)が、国連欧州本部(シ

ュネーブ)の「投資・企業と開発委員会」で発表した。中田社長は3月に東京であったFAO(国連食糧農業機関)の会議に出席。対貧困や非常時の食糧確保が世界的な課題となっており、ギア社の取り組み

が注目を集めた。これを契機に国連欧州本部での発表が実現した。中田社長は190カ国の代表者に対し、英語でギア社の概要をスピーチ。「日本、特に



ギアリンクスの南米での穀物生産について発表する中田智洋社長(右)とジュネーブの国連欧州本部(同社提供)

岐阜県向けの穀物生産」「南米日系移民農家支援」「純民間としての取り組み」の3点を強調した。本来の自社「サフラダコスモ」(中津川市)の発芽野菜作りにも触れ、スーダンなどの代表者から「大豆の大規模栽培の可能性について視察に来てほしい」との要望もあったという。

ギア社は今年、アルゼンチンとパラグアイで収穫した大豆2300トを輸入する予定。昨年実績では県内で作られる豆腐の原料大豆の14%を賄っており、その割合は増えているという。(森川洋)